

令和二年 前期選抜学力検査問題
度 国語 (一時間目 四十五分)

次の文章を読んで、1～6の問いに答えなさい。

一一 問題は、表と裏にあります。
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

注 意

受検番号

氏名

表合計

合計

十五夜が近づいたある夜、ついに天人が、月からかぐや姫を迎えてやつてきた。天人は、かぐや姫が月に帰るために必要な天の羽衣と不死の薬を持参した。そして、不死の薬を飲むようにかぐや姫に勧めた。

いささかなめたまひて、すこし、形見とて、脱ぎ置く衣に包まむとすれば、在る天人包ませず。^{きぬぞ}御衣^{きぬ}をとりいでて着せむとす。その時に、かぐや姫、「しばし待て」といふ。「衣着せつる人は、心異になるなりといふ。物一言いひ置くべきことありけり」といひて、文書く。天人、「遅し」と、*心もとながりたまふ。

かぐや姫、「物知らぬこと、なのたまひそ」とて、いみじく静かに、朝廷に御文奉りたまふ。あわてぬさまなり。

【注】

*なめたまひて……（薬を）おなめになつて *御衣……天の羽衣
*心もとながりたまふ……じれつたくお思いになる
*物知らぬこと、なのたまひそ……情け知らずなことをおつしやるな
*朝廷……みかど

（「竹取物語」による）

1 さい包^まむ^いふ を現代仮名遣いに直し、すべて平仮名で書きな

2 群^まか天人^まそ^ま御文^まに^まれ^まは^まつ^ま選んで書きなさい。
（1）かぐや姫が、「しばし待て」と言つた理由を次のようにまとめる。
（2）かぐや姫が、「しばし待て」と言つた理由を次のようにまとめる。

3 しばし待て

と、かぐや姫が言つたことについて、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 答えなさい。
(2) かぐや姫が、「しばし待て」と言つた理由を次のようにまとめる。
（3）かぐや姫が、「しばし待て」と言つた理由を次のようにまとめる。
（4）かぐや姫が、「しばし待て」と言つた理由を次のようにまとめる。

4 次の文章は、本文に続く、みかどに宛てたかぐや姫の手紙の一
部である。また、「手紙から読み取れること」を後のようにまと
めた。「a」「b」に適する内容を現代語で書きなさい。

（1）かぐや姫が、「手紙から読み取れること」を後のようにまと
めた。これらを読んで、「a」には適する内容を現代語で書き、
「b」には当てはまる内容として最も適切なものを、「b」
から一つ選んで記号を書きなさい。

（2）かぐや姫が、「手紙から読み取れること」を後のようにまと
めた。これらを読んで、「a」には適する内容を現代語で書き、
「b」には当てはまる内容として最も適切なものを、「b」
から一つ選んで記号を書きなさい。

b | a

天の羽衣を着せられた人は、「a」ので、みかどに「b」こ
とができなくなるから。

【注】 *賜ひて……おつかわしくださり
 *取り率てまかりぬれば……私をとらえて連れてゆきますので

エウイア

みかどの過分な御厚意に対しての戸惑い
天人の身勝手なましい対しての怒り
月に分かれる。また、「口惜しく悲しき」に、かぐや姫の「b」
がどうにもできない運命への嘆き

（手紙から読み取れること）
あまたの人を賜ひてとどめさせたまへど、許さぬ迎へまう
で来て、取り率てまかりぬれば、口惜しく悲しきこと。

かくあまたの人を賜ひてとどめさせたまへど、許さぬ迎へまう
で来て、取り率てまかりぬれば、口惜しく悲しきこと。

a
b